



人と物の部屋

28㎡の部屋の中で、人と物は同じ床の面積を分け合いながら生活している。物が占める面積を私たちの生活空間になればどれだけこの部屋が広くなるだろうか、、、どんな豊かな生活を営めるようになるのだろうか、、、

- 上部空間を使いこなす

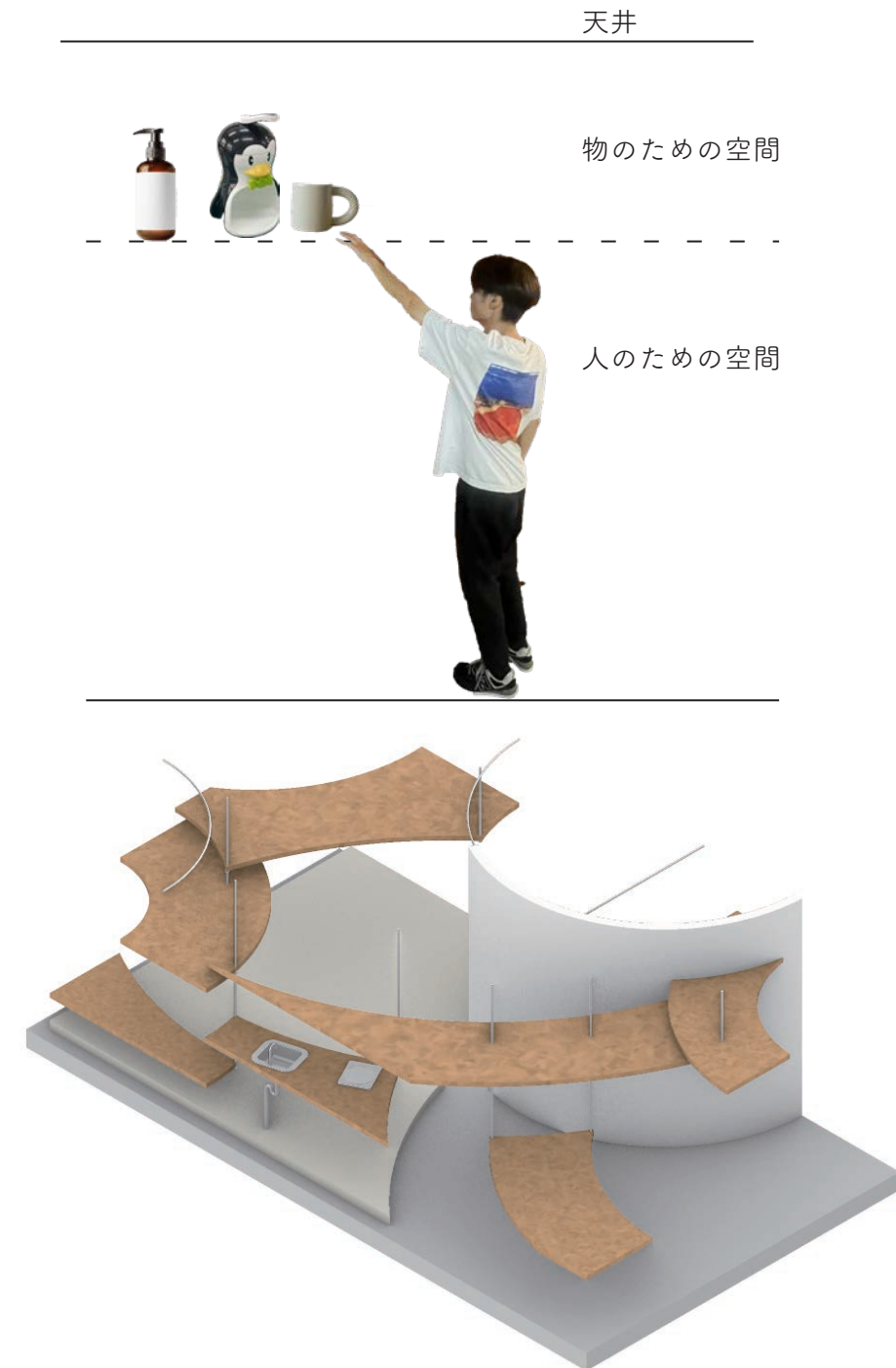
人が使える床を占有していた物たちを天井に近い上部空間に収め、
人々の生活する場を拡大する。このことで 28 m² の部屋をより自由
に使えるようになる。

- 上部空間を使いこなすため場所

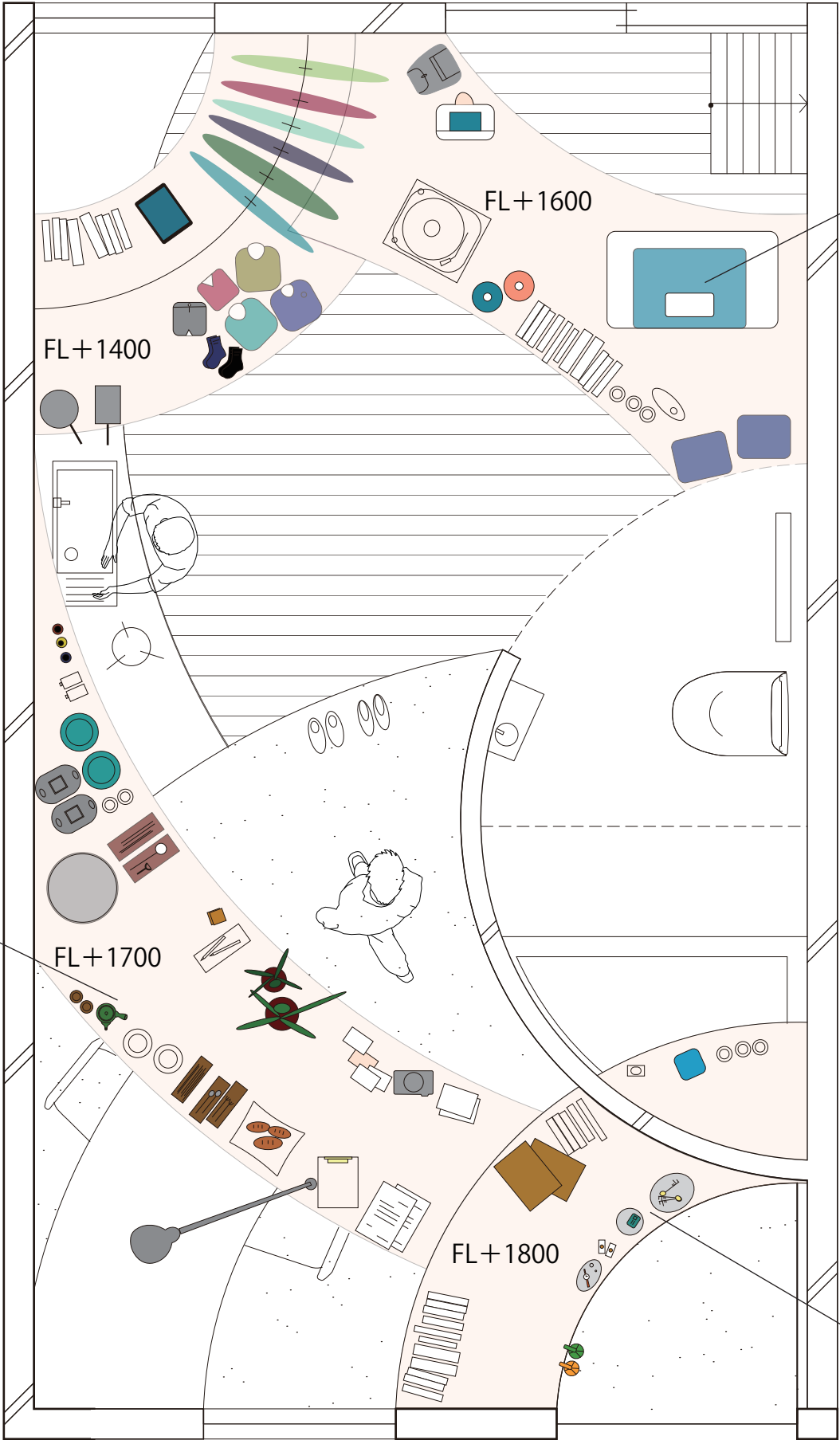
高さの違うストレージを部屋の至る所にすることで、自ずとそれぞれの場所が定まる。加えて、部屋のどこで過ごしていても、物多く
場所が生まれ、生活がしやすくなるようになる。

- 生活の場が広がる

床面積の拡大によって生まれた生活の空間の一部を土間空間とし、
来客と楽しめる空間とした。部屋の奥は、床間空間としてプライベート
の空間を作り領域を分けた。



平面ダイアグラム



食器や小物がこの棚の上に混在してディスプレイされる

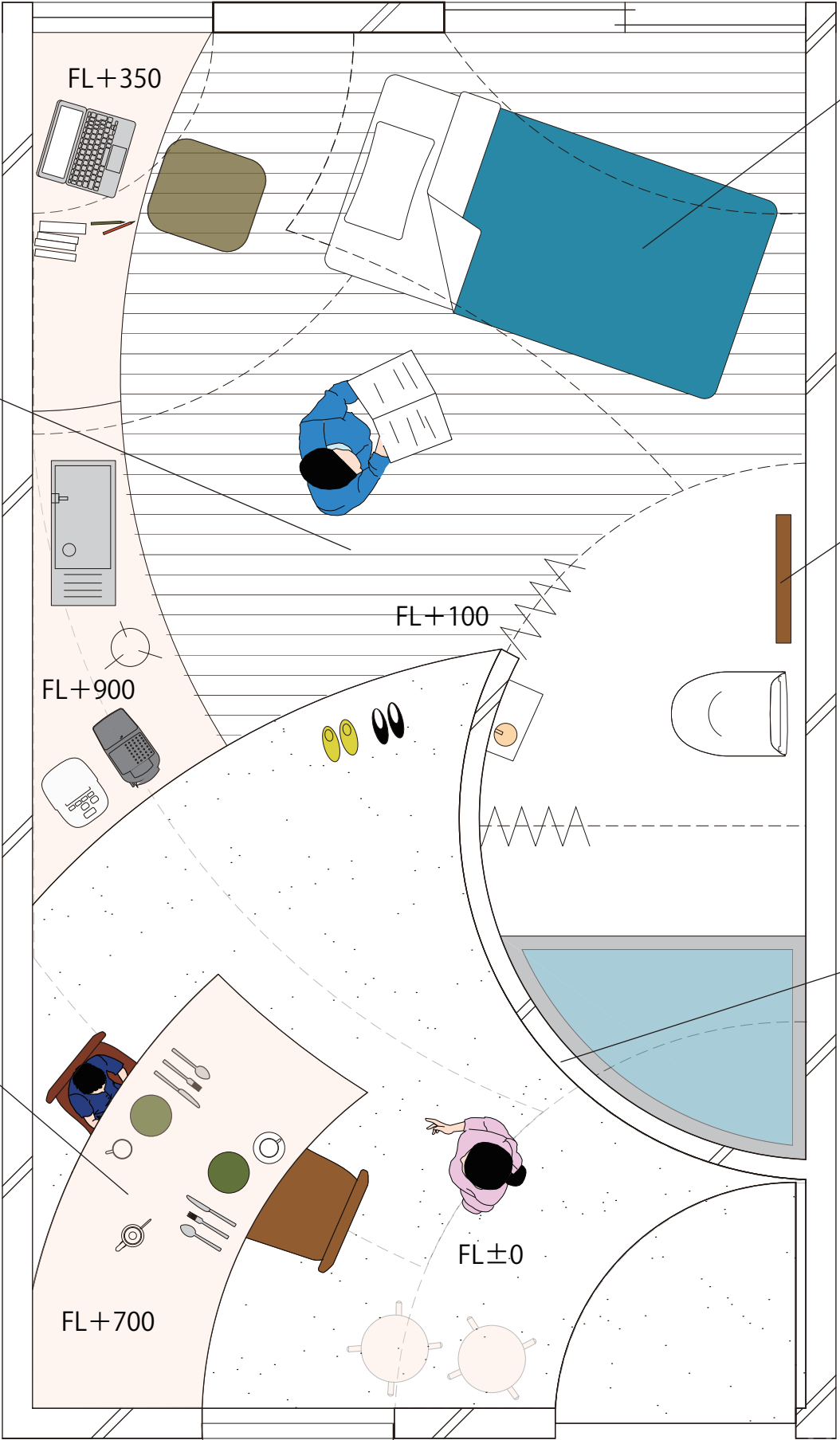
寝具を棚の上において、広々と床を使える

日中はプライベート空間が広々と使える自由な生活を営める。

土間空間にダイニングがあるので、気兼ねなく来客を招くことができる。

外出時にいつも持ち歩くものを置いておける。

物のための空間の平面図 [h=FL+2100]



就寝時は寝具をおろして広々と寝ることができる。

全身鏡で身だしなみをチェックできる。

曲面の壁が奥のプライベート空間への視線を遮る。

人のための空間の平面図 [h=FL+1200]

-物を展示する、収納する

物を置く場所はただの棚でない。その人が持つものがディスプレイされ、その人にしか作れない物に囲まれた空間が生まれる。



断面パース S=1/25[A3 用紙]



立体的に重なるストレージが奥行きを作り出し、収納されている物が展示されるかのように収納される。



プライベート空間は、床面積の拡大によって運動など自由な生活が営める